

# 道消協ニュース

No.7

発行責任者  
道消協会会長  
編集責任者  
道消協事務局次長

鎌田 常孝  
三上 高鋭

## 2013年度道消協青年・女性研修会

平成25年2月20日(水)・21日(木)、自治労会館3階中ホールにて、道内38単協から76名、自治労道本部から3名、札幌地域労組から3名、道消協役員8名、計90名の会員が参加した。

開会にあたり、道消協鎌田会長、自治労道本部藤盛副執行委員長からの挨拶の中で、民主から自公政権に代わり、消防職員への団結権回復問題や公務員制度改革の今後について、丁寧な説明がありました。

### 【1日目】

#### 第1講座「労基法と消防職場」

北海道消防職員協議会 副会長 菅原宏仙

#### 第2講座「ブラック企業の民主化を目指して

田井自動車支部の闘い」

札幌地域労組 書記長 鈴木一

田井自動車支部 支部長 橋本良太

### 【2日目】

#### 第3講座「消防職場の賃金・労働条件を考える」



### 第1講座「労基法と消防職場」

北海道消防職員協議会 副会長 菅原宏仙

労働基本法がどのように消防職場に適用されているのか。現状と課題をわかりやすく解説しました。

そして、今の自分の職場環境があたりまえと考えず、先輩方の築いてきたものを見ながら、権利回復のため自分たちで戦わなければならないことを最後に強調し、第1講座を終了しました。



### 【第1講座を受講して】

この講義を受けて一番印象に残っているのは、労基法では休憩時間を振り返ることができないことになっているとういうこと。

私の職場でも休憩時間の繰り上げ、繰り下げが行われているので、身近なこととして印象に残った。労基法上、休憩時間に仕事をさせることができないとなっており、また、使用者の指揮監督下にあるが、現実には精神又は肉体を活動させていない時間も労働時間に含まれるとある。災害はいつ起きるかわからないので、消防職場にこの現実に沿った賃金・労働時間を自分たちの手で獲得していかなければならないと思いました。

受講者 M.I

### 第2講座

「ブラック企業の民主化を目指して 田井自動車支部の闘い」  
札幌地域労組 書記長 鈴木一

労組は、さまざまな労働にかかわる相談を受けている。労働相談の「駆け込み寺」。働く人たちの環境がどんどん悪くなる中、職場環境の全体を底上げしていく仕事。

憲法が先にあるのではなく、皆さん働く者がが団結をして労働条件の改善をする。これが世界共通ルールである。労働法は組合活動が伴ってはじめて守られる法律。労働組合の活動が無ければ、労働法は絵に描いた餅。消防職員協議会皆さんの今後の活躍を期待します。

田井自動車支部 支部長 橋本良太

私たちは、田井自動車で特殊な仕事をしている。火災を消すお手伝いをしている気持ちで働いている。

自分たちの会社の過酷な労働条件や不当労働行為の話をしたら、田井自動車の消防車なんか危なくて乗れないなどと思うかもしれませんが、これから私たち組合が田井自動車を立て直して、質の良い車を作っていきたいと思っています。これからも皆様ご協力お願いいたします。



### 【第二講座「田井自動車労組結成・戦い」の講演を聞いて】

私が、青年女性研修会の中で最も印象に残ったのは、道内自治体の消防車を製造している会社メーカー『田井自動車』の橋本さんの講演でした。そこは、大正12年創業の老舗ですが、これまで労働組合はなかったそうです。講演していただいた橋本さんが、最初に我々に訴えてきたのが「とにかく給料が安く、残業が多く、学生のバイトの方がましだ」ということでした。このような悪しき慣行を続けては今後のためにならないと考えた橋本さんは、自ら社員一人ひとりと面談して意思を確かめ、24人で労働組合結成に至ったそうです。

組合結成後は、就業規則や労使取決めの関係書類の提出を会社に求めるなど、何から何まで手探りの状態が続き、昨年9月には「おれたちは奴隷じゃない」をキャッチフレーズに、初めてのストライキも断行したと言っていました。

橋本さんは、この講演で我々に何を訴えたかったか、それは「全国に労働条件で苦しんでいる20代、30代の若い人たちに、我々の取り組んでいる活動が何らかのメッセージになれば」ということだと思います。私の所属する消防は、他の自治体と比較すると、恵まれた労働条件であることは今回の研修を通じて実感しました。これは我々の諸先輩方が築き上げたからこそ今があります。

今後、私の消防でも3年間で30数名の大量退職の時期を迎えます。そして、人件費削減に伴う新規採用抑制により人員が減少し、いつ労働条件が悪くなるかはわかりません。その時には、我々若い人たちが一致結束して、今まで築き上げてきた良き慣行を継承していかなければならないと強く思いました。

最後に、この研修を通して、いろいろな労働条件のもとで働いている人たちと、それについての問題点や改善点など意見交換ができたことは大変勉強になりました。ありがとうございました。

受講者 H.K